

Cisco Application Policy Infrastructure Controllerの脆弱性



アドバイザーID : cisco-sa-apic-multi-vulns-9ummtg5

[CVE-2025-20117](#)

初公開日 : 2025-02-26 16:00

[CVE-2025-](#)

バージョン 1.0 : Final

[20118](#)

CVSSスコア : [6.0](#)

[CVE-2025-](#)

回避策 : No workarounds available

[20119](#)

Cisco バグ ID : [CSCwk18862](#) [CSCwk18863](#) [CVE-2025-CSCwk18864](#) [CSCwk18865](#)

[20116](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) の複数の脆弱性により、認証された攻撃者が機密情報にアクセスしたり、任意のコマンドを実行したり、サービス妨害 (DoS) 状態を引き起こしたり、クロスサイトスクリプティング (XSS) 攻撃を実行したりする可能性があります。これらの脆弱性を不正利用するには、攻撃者は有効な管理者クレデンシャルを持っている必要があります。

これらの脆弱性の詳細については本アドバイザーの「詳細情報」セクションを参照してください。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-apic-multi-vulns-9ummtg5>

該当製品

脆弱性のある製品

公開時点で、これらの脆弱性はデバイス設定に関係なく、Cisco APICに影響を与えました。

このアドバイザーの公開時点で脆弱性が存在するシスコソフトウェアリリースについては、このアドバイザーの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。最も完全で最新

の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの「[脆弱性のある製品](#)」セクションに記載されている製品のみが、これらの脆弱性の影響を受けることが分かっています。

詳細

脆弱性の詳細は以下のとおりです。

CVE-2025-20119: Cisco APIC 認証済みローカル DoS 脆弱性

Cisco APIC のシステムファイル許可処理における脆弱性により、認証されたローカル攻撃者が重要なシステムファイルを上書きして、DoS 状態を引き起こす可能性があります。この脆弱性を不正利用するには、攻撃者は有効な管理者クレデンシャルを持っている必要があります。

この脆弱性は、システムファイル进行处理する際の競合状態に起因します。攻撃者は、ファイルシステムに対して特定の操作を実行することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者がシステムファイルを上書きして、デバイスが不整合な状態になり、DoS 状態が発生する可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグ ID: [CSCwk18865](#)

CVE ID : CVE-2025-20119

SIR : 中

CVSS ベーススコア : 6.0

CVSS ベクトル : CVSS:3.1/AV:L/AC:L/PR:H/UI:N/S:U/C:N/I:H/A:H

CVE-2025-20117: Cisco APIC 認証済みコマンドインジェクションの脆弱性

Cisco APIC の CLI の脆弱性により、認証されたローカル攻撃者が、該当デバイスの基盤となるオペレーティングシステムでルートとして任意のコマンドを実行できる可能性があります。この脆弱性を不正利用するには、攻撃者は有効な管理者クレデンシャルを持っている必要があります。

この脆弱性は、特定の CLI コマンドに渡される引数の検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、巧妙に細工された入力を該当 CLI コマンドの引数として含めることによって、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は root 権限を使用して、基盤となるオペレーティングシステムで任意のコマンドを実行できる可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグID: [CSCwk18862](#)

CVE ID : CVE-2025-20117

セキュリティ影響評価 (SIR) : 中

CVSS ベーススコア : 5.1

CVSSベクトル : CVSS:3.1/AV:L/AC:L/PR:H/UI:N/S:U/C:L/I:H/A:N

CVE-2025-20116: Cisco APICストアドXSSの脆弱性

Cisco APICのWeb UIの脆弱性により、認証されたりモートの攻撃者が該当システムでストアドXSS攻撃を実行できる可能性があります。この脆弱性を不正利用するには、攻撃者は有効な管理者クレデンシャルを持っている必要があります。

この脆弱性は、Web UIの入力検証が不適切なことに起因します。認証された攻撃者は、Web UIの特定のページに悪意のあるコードを挿入することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者はWeb UIのコンテキストで任意のスクリプトコードを実行したり、ブラウザの機密情報にアクセスしたりする可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグID: [CSCwk18863](#)

CVE ID : CVE-2025-20116

SIR : 中

CVSS ベーススコア : 4.8

CVSS ベクトル : CVSS:3.1/AV:N/AC:L/PR:H/UI:R/S:C/C:L/I:L/A:N

CVE-2025-20118: Cisco APIC認証情報漏えいの脆弱性

Cisco APICの内部システムプロセスの実装における脆弱性により、認証されたローカル攻撃者が該当デバイスの機密情報にアクセスできる可能性があります。この脆弱性を不正利用するには、攻撃者は有効な管理者クレデンシャルを持っている必要があります。

この脆弱性は、システムCLIコマンドで表示される機密情報のマスキングが不十分であることに起因します。攻撃者は、デバイスのCLIで偵察技術を使用することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は影響を受けるデバイスの機密情報にアクセスし、その情報を利用して攻撃を行う可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグID: [CSCwk18864](#)

CVE ID : CVE-2025-20118

SIR : 中

CVSS ベーススコア : 4.4

回避策

これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、[シスコ セキュリティ アドバイザリ ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

修正済みリリース

次の表では、左の列にシスコソフトウェアのリリースを記載しています。右側の列は、リリースがこのアドバイザリに記載されている脆弱性の影響を受けるかどうか、およびこの脆弱性に対する修正を含む最初のリリースを示しています。このセクションの表に記載されている適切な[修正済みソフトウェアリリースにアップグレードすることをお勧めします。](#)

Cisco APICリリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)
5.3 以前	修正済みリリースに移行。
6.0	6.0(8e)
6.1	6.1(2f)

Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正されたリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRTは、このアドバイザリに記載されている脆弱性の公表や悪用を認識していません。

出典

シスコは、これらの脆弱性を報告していただいたNATOサイバーセキュリティセンター(NCSC)のJean-Michel Huguet氏とJorge Escabias氏に感謝いたします。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-apic-multi-vulns-9ummtg5>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2025年2月26日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。